

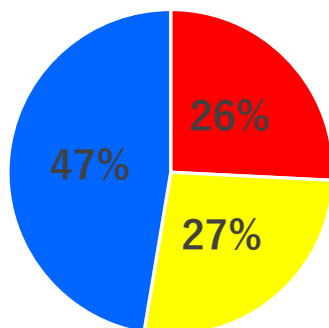
「情報端末とのよりよい関わり方に関するアンケート」2025
〈野々市市小中学校保護者アンケートより〉

小学1年	266 人	中学1年	202 人
小学2年	273 人	中学2年	165 人
小学3年	299 人	中学3年	139 人
小学4年	343 人		
小学5年	309 人		
小学6年	328 人	計	2,324 人

問①お子様が使える携帯電話（スマホ等）はありますか？

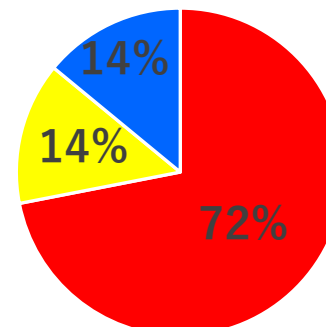
小学生

保護者の回答



- 持ってる
- 共有
- ない

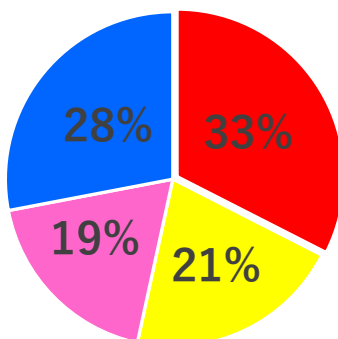
中学生



- 持ってる
- 共有
- ない

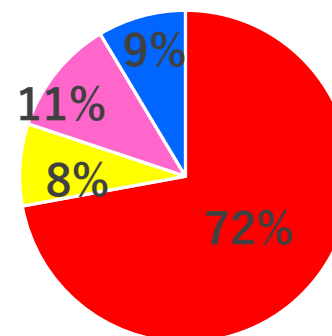
小学生

子どもの回答



- 持っている
- 共有
- お下がり
- ない

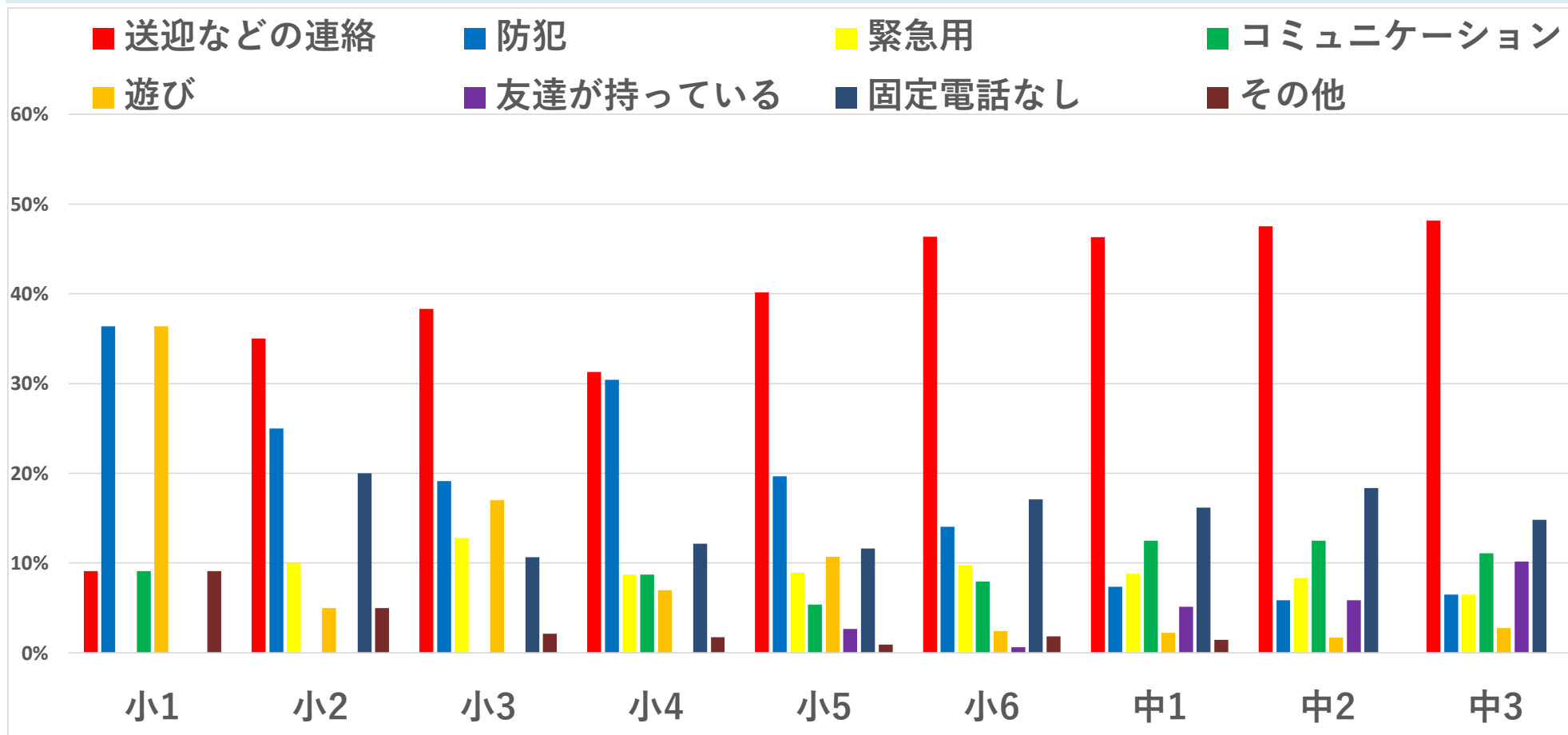
中学生



- 持っている
- 共有
- お下がり
- ない

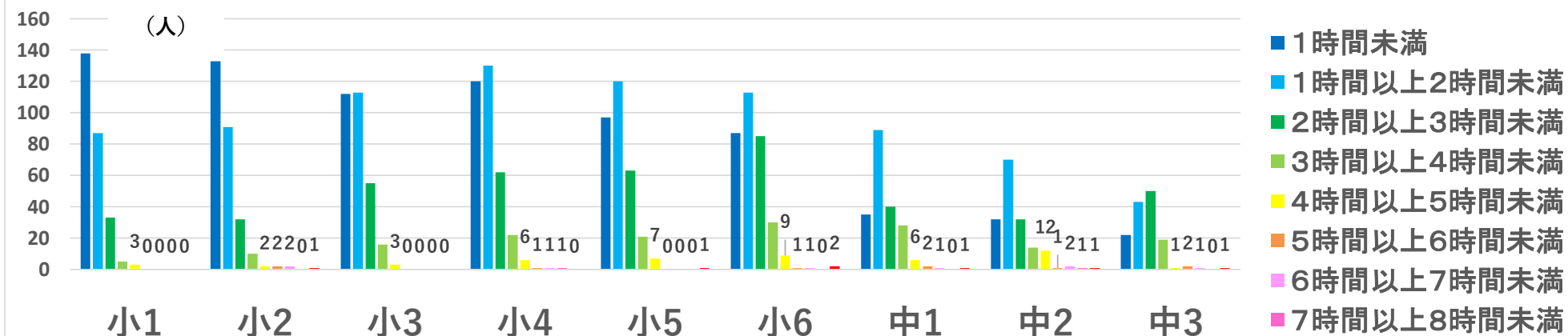
小学生の子どもと保護者の認識にズレがあるが、中学生にはほとんどズレはない。昨年と比べ、中学生の所持率は上がっているが、小学生はほぼ横ばいである。

問①-2 どのような理由（目的）で携帯電話（スマホ）を持たせていますか？

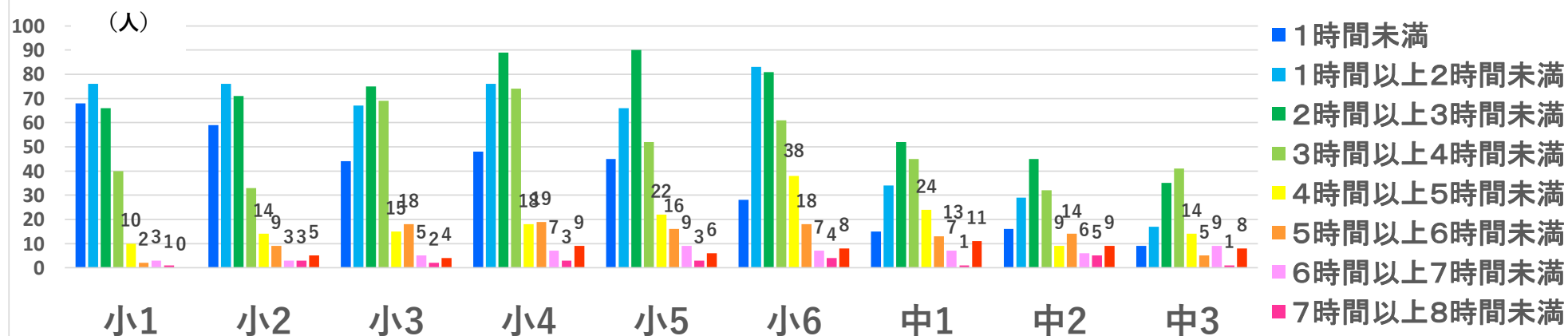


小学校低学年は安全（防犯・緊急）目的で持てせているが、習い事が増える中学年からは連絡（送迎）が増える。中学生になるとコミュニケーション（部活、グループ連絡、SNS）が増える。

問②－１ 平日（SNSやゲーム、動画視聴など、学習以外で使う時間）

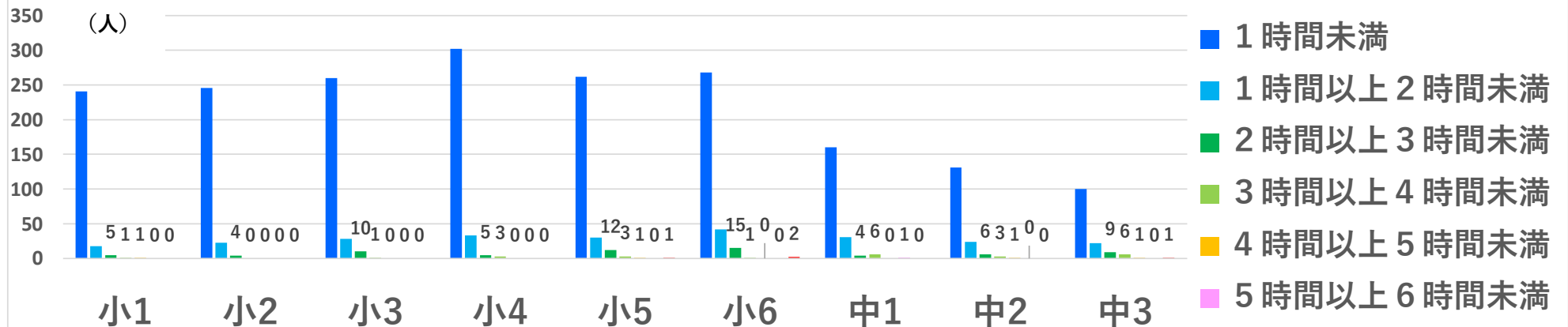


問②－２ 休日（SNSやゲーム、動画視聴など、学習以外で使う時間）

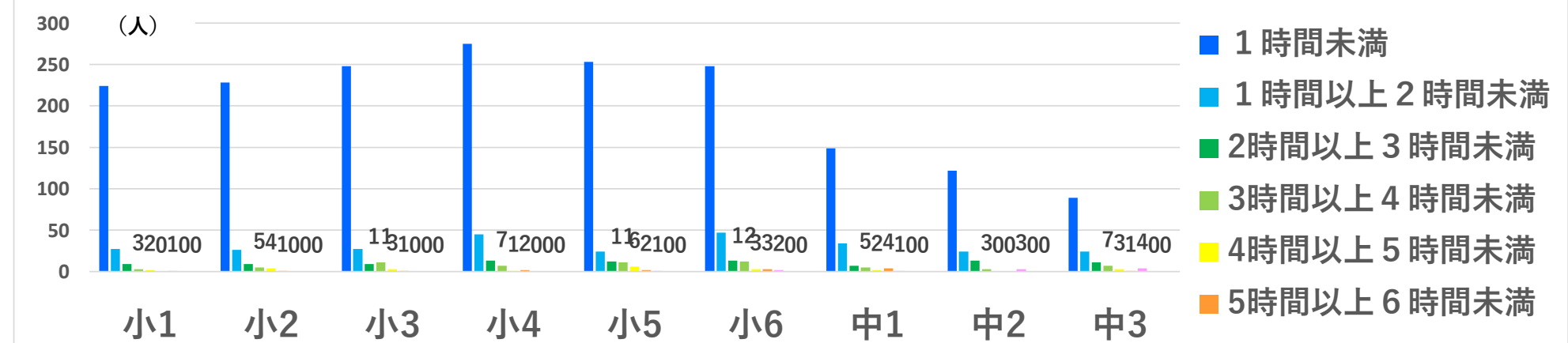


昨年と比べ、休日の長時間利用が早期化している。小学校高学年から休日の依存度が急伸し、中学生では長時間利用が加速する。

問③－１ 平日（家庭学習でパソコン、タブレット等のICT機器を使う時間）

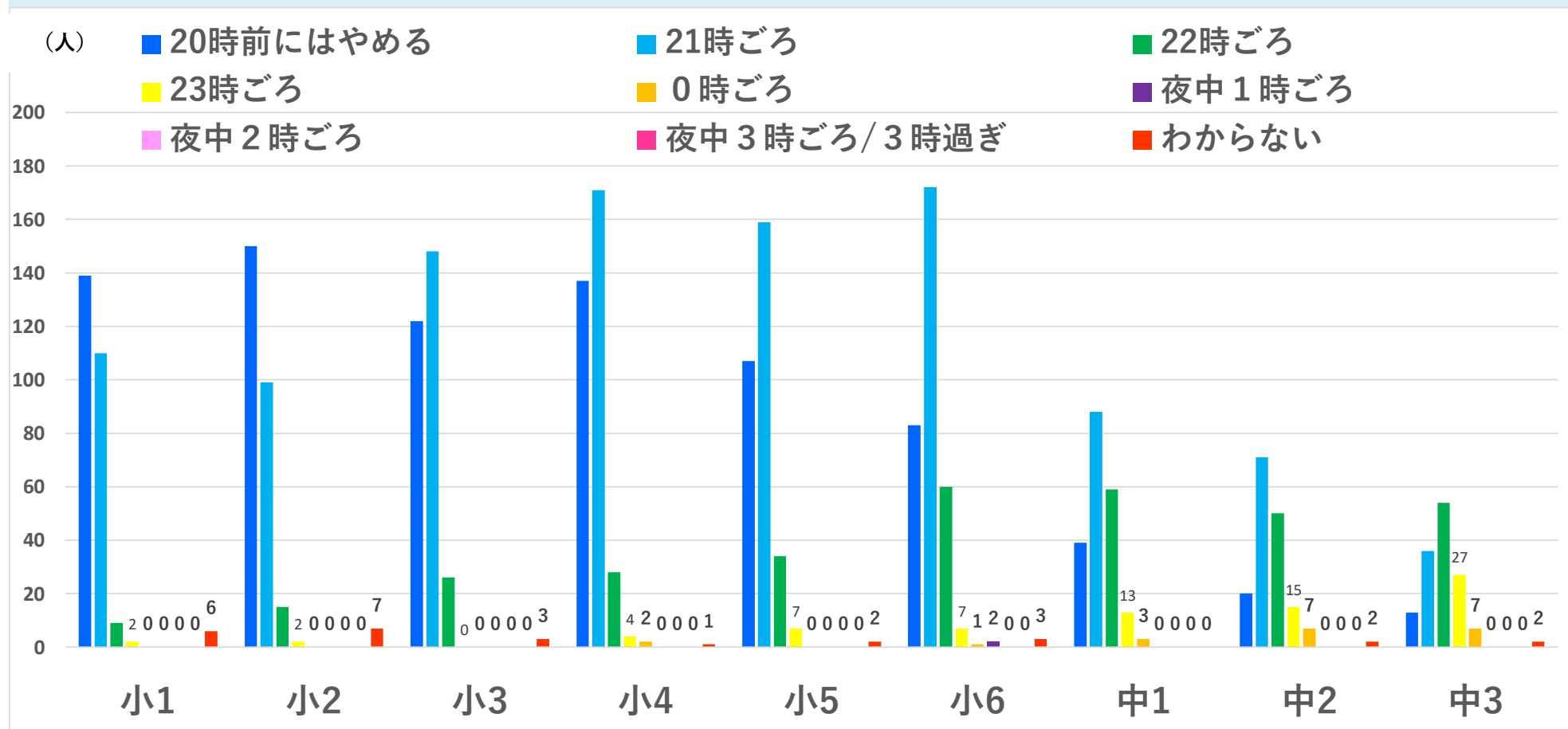


問③－２ 休日（家庭学習でパソコン、タブレット等のICT機器を使う時間）



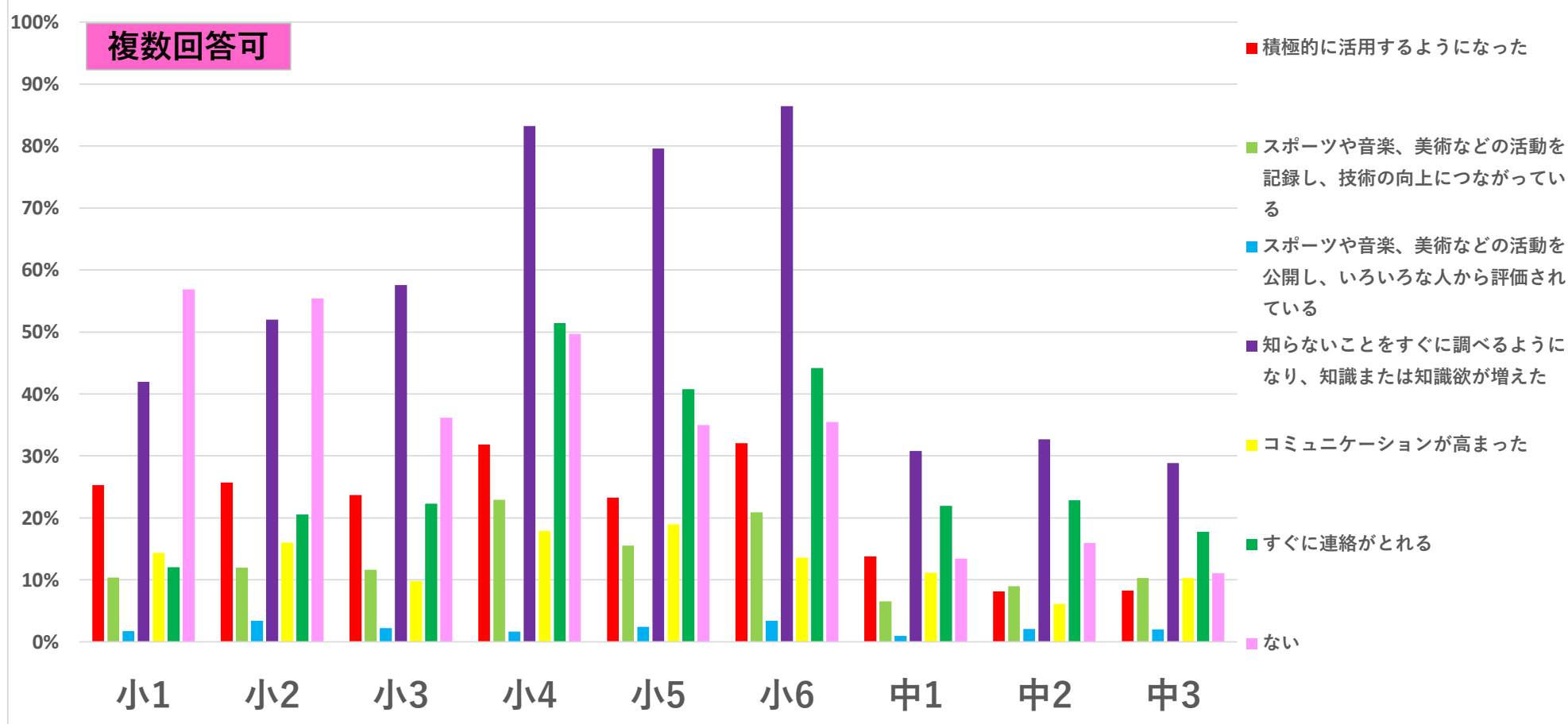
平日、休日ともに依然として「1時間未満」が多数派ではあるが、昨年と比べICT学習の利用時間は全体的に増加している。

問④お子様は平日の夜、ゲームや動画視聴、SNSなどを何時頃までやっていますか？



小学生では「～21時」が圧倒的多数だが、高学年から「22時ごろ」が増加し、夜更かし傾向が強まる。

問⑤お子様がスマホやPC、タブレット等を使うようになって良かったと感じていることは？

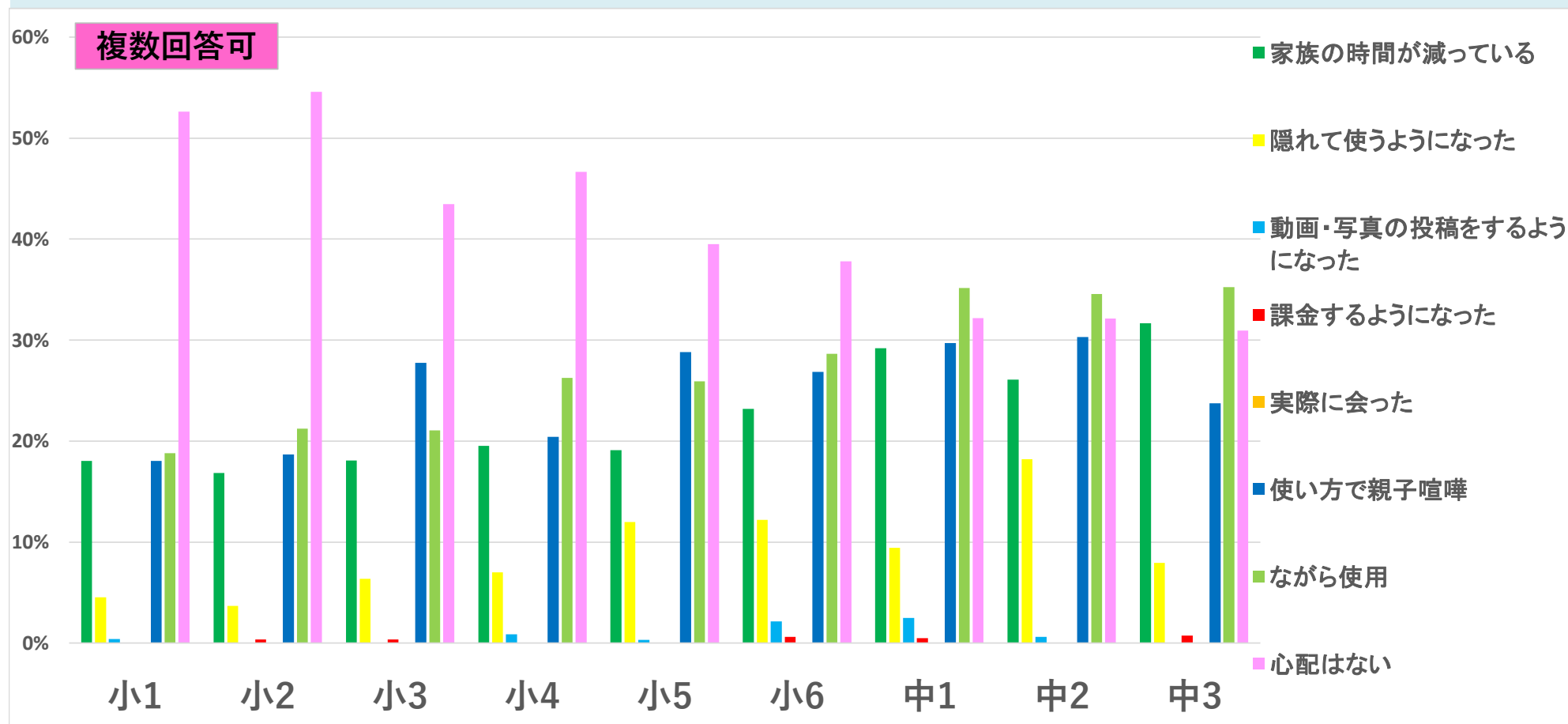


小学生では学習や好奇心の面での利点を実感している家庭が多く「すぐに連絡がとれる」と保護者の安心感につながっているが、中学生になると「連絡用ツール」としての価値は次第に薄れている。

問⑤お子様がスマホやPC、タブレット等を使うようになって良かったと感じていることはありますか？（その他の回答）

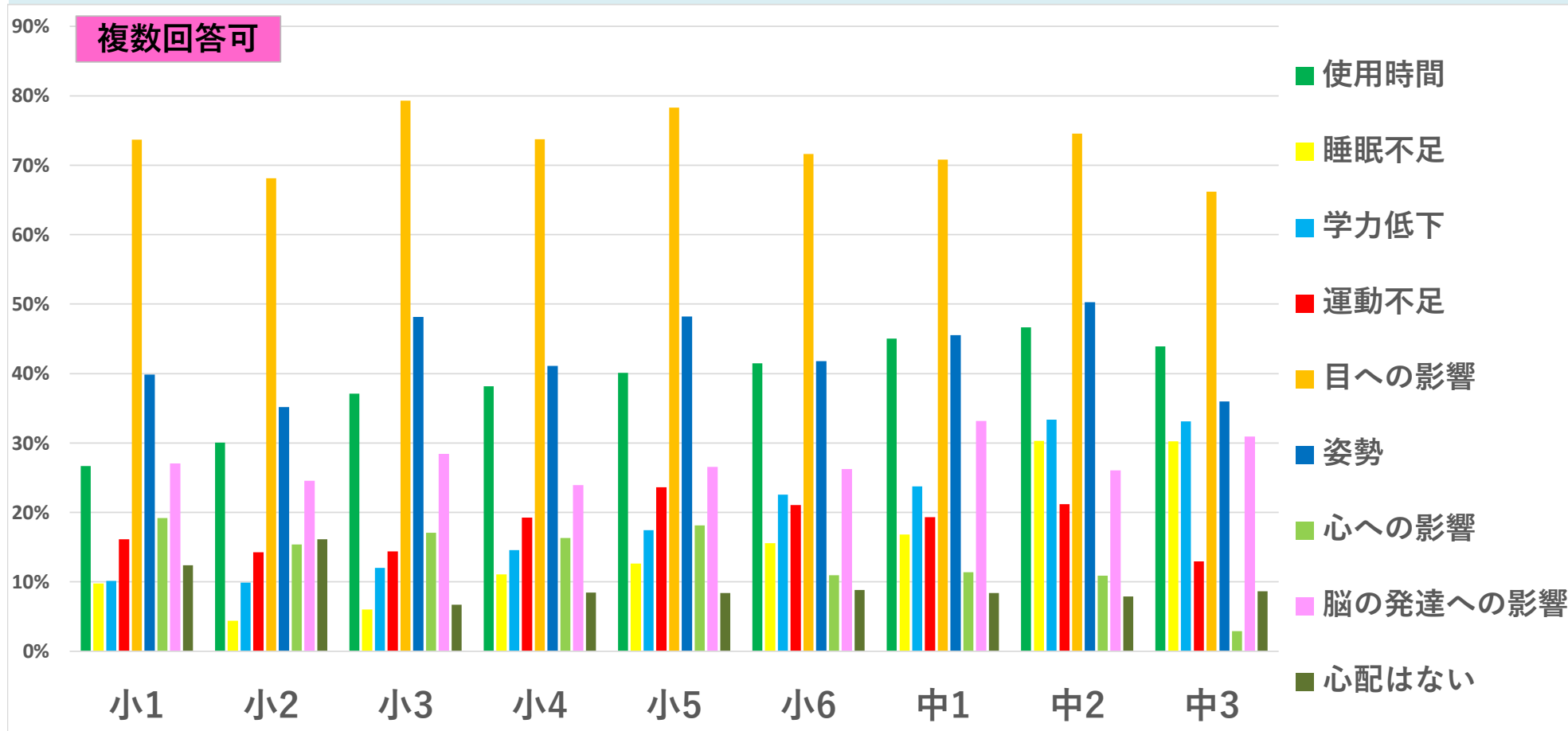
- ・好きな音楽を自由に聴く事ができ、充実している
- ・友達と連絡がとりやすいように感じる
- ・習い事の練習などに役立つ部分はある
- ・友達と共通の会話ができる
- ・ダンスの練習など動画で見ている
- ・友だちとの過ごし方が見えるようになった
- ・色々な言葉を覚えた。
- ・本人が楽しそう
- ・習い事に必要な動画の視聴ができるようになった
- ・気分転換（ストレス発散） 現実逃避
- ・動画を見て工作や聞いた曲をピアノで演奏している
- ・集中してくれるので子どもが静かで助かる
- ・英語の発音練習がしやすい。
- ・留守番をしている間の子供の不安が軽減した(本人談)
- ・興味のある情報に詳しくなった（虫の生態など）
- ・遊びに行っている家の親に連絡をしなくても、直接連絡が取れる。
- ・タイピングが上達した、知りたいことの検索方法が身についた
- ・任せて遊べるようになってこちらの時間が空くようになったこと
- ・家庭学習で気軽に勉強をするようになった。
- ・動画を見て料理するようになった
- ・情報機器の扱いに慣れた
- ・文字を読むことに興味を持ち早くに読めた
- ・学校に行っていない分、学校の友達とのコミュニケーションがとれている。

問⑥お子様のICT機器の使用に関して、行動面で心配なことや困ったことがありますか？



小学校低学年は安定しているが中学年から心配事が増えてくる。高学年以降は家庭・生活・人間関係に大きな影響が心配される。

問⑦お子様のインターネットやゲーム機等の利用について健康面などで心配なことは？

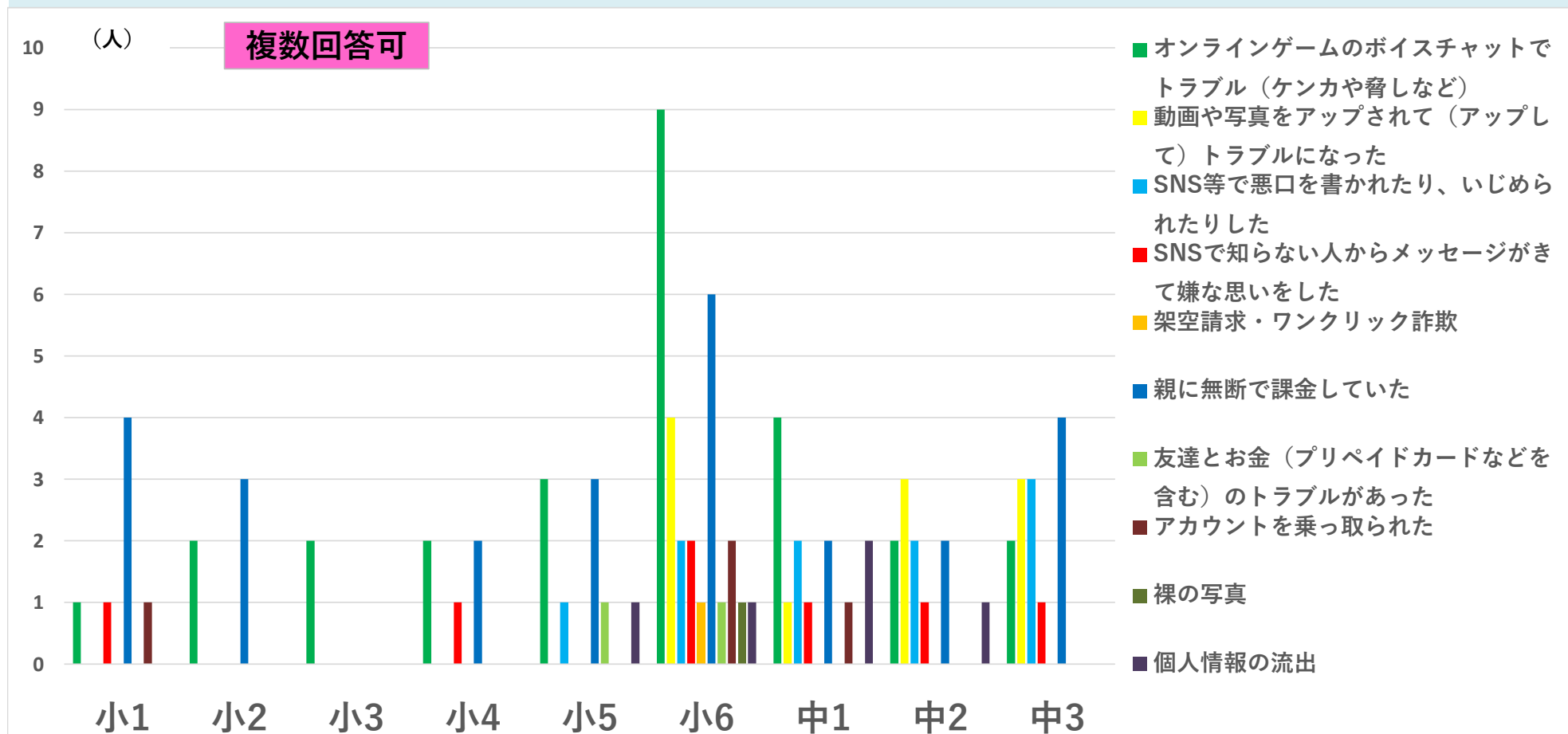


保護者が一番心配しているのは「目への影響」で、「使用時間の長さ」「学力低下」が学年とともに増加する。昨年に比べ「心配ない」と答えた保護者の割合は少なく、何らかの懸念を抱いている。

問⑦お子様のインターネットやゲーム機等の利用について健康面などで心配なことはありますか？（その他の回答）

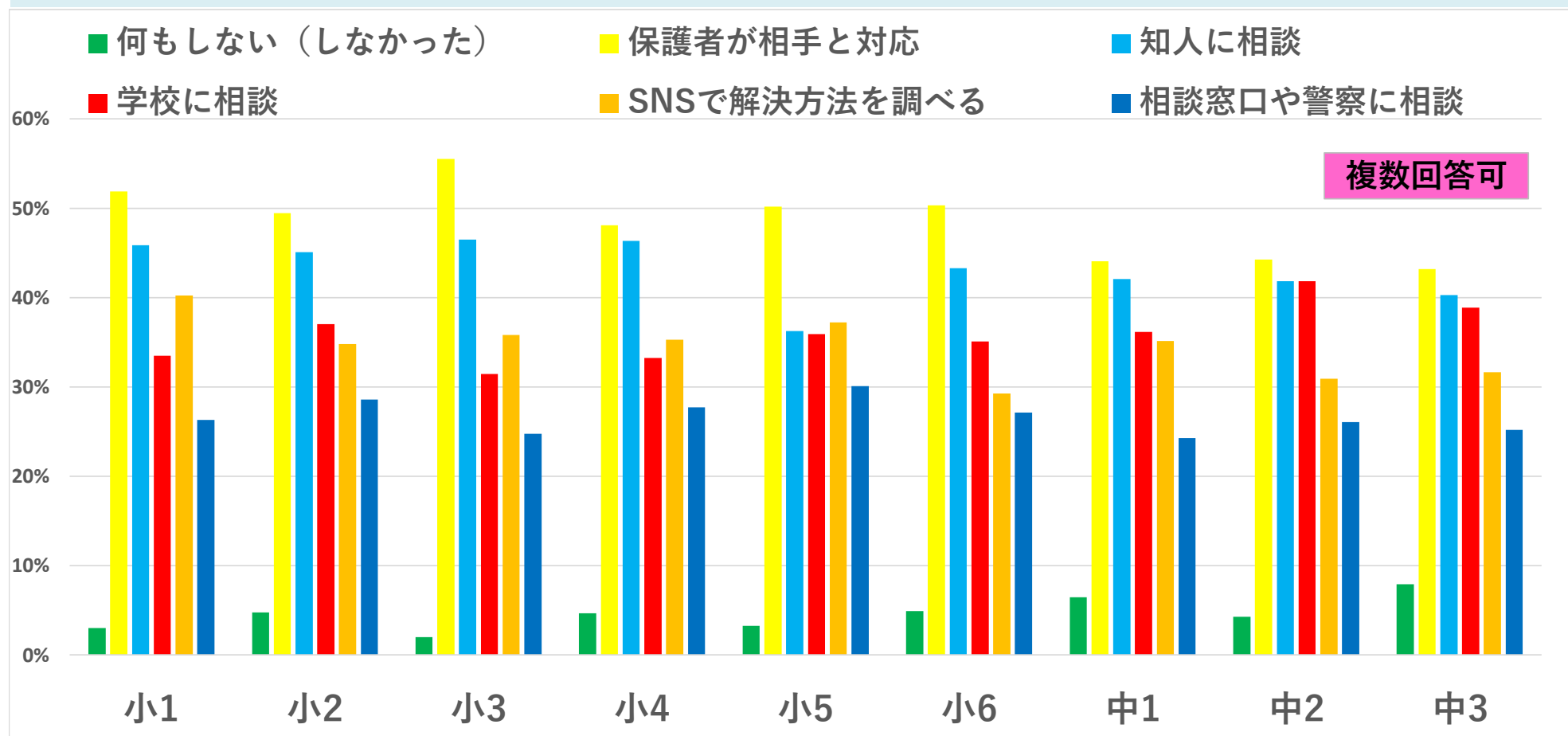
- ・年齢に適切でない広告
- ・ワンクリック詐欺のおそれ
- ・トラブルが起きるのではないか
- ・動画でゲーム攻略を見ていると、言葉遣いが乱暴になる。オマエ、オイ、から始まり日常のコミュニケーションへの影響が気になる。
- ・不適切な言葉の習得
- ・集中力の低下
- ・友達と連絡先交換が始まった場合の人間関係
- ・youtubeやtiktokのショート動画は制限できるが、LINE voom はLINEをしていると見れてしまう。動画の内容まで精査できない。
- ・家にこもって、コミュニケーション不足
- ・少しの時間でもやりたいとなるので、やらなければいけないことが遅れてしまう。
- ・夏休みなどに出る宿題をみていて、紙ベースのものよりも、読み飛ばしが多い。無意識に、焦っているようにも感じる。
- ・ゲーム中の言葉遣いや態度
- ・情報が正しいかそうでないかの分別がつかなくなることが心配
- ・イヤホンを使うことがあるので、聴力低下につながらないか不安を感じる
- ・時間の約束をしても守らない
- ・依存的

問⑧お子様に実際にトラブルが起きたことはありますか？



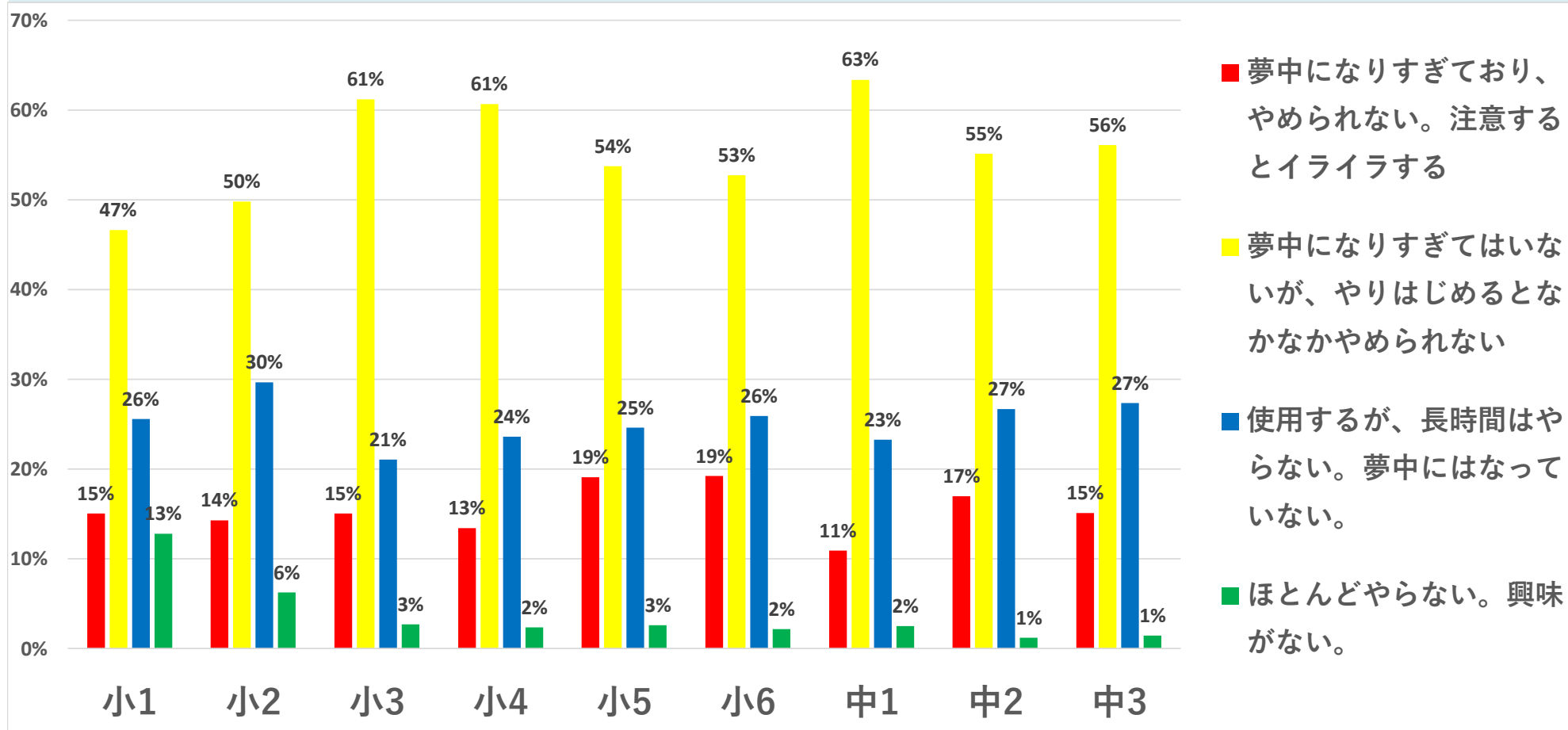
回答者のうち 96.5%が「トラブルなし」としており、実際に問題が起きた家庭はごく一部。特に 小6 に多様なトラブルが集中し、学年が上がるにつれて利用の幅が広がる分リスクも増えている。

問⑨お子様に実際トラブルが起きたらどうしますか（どうしましたか）



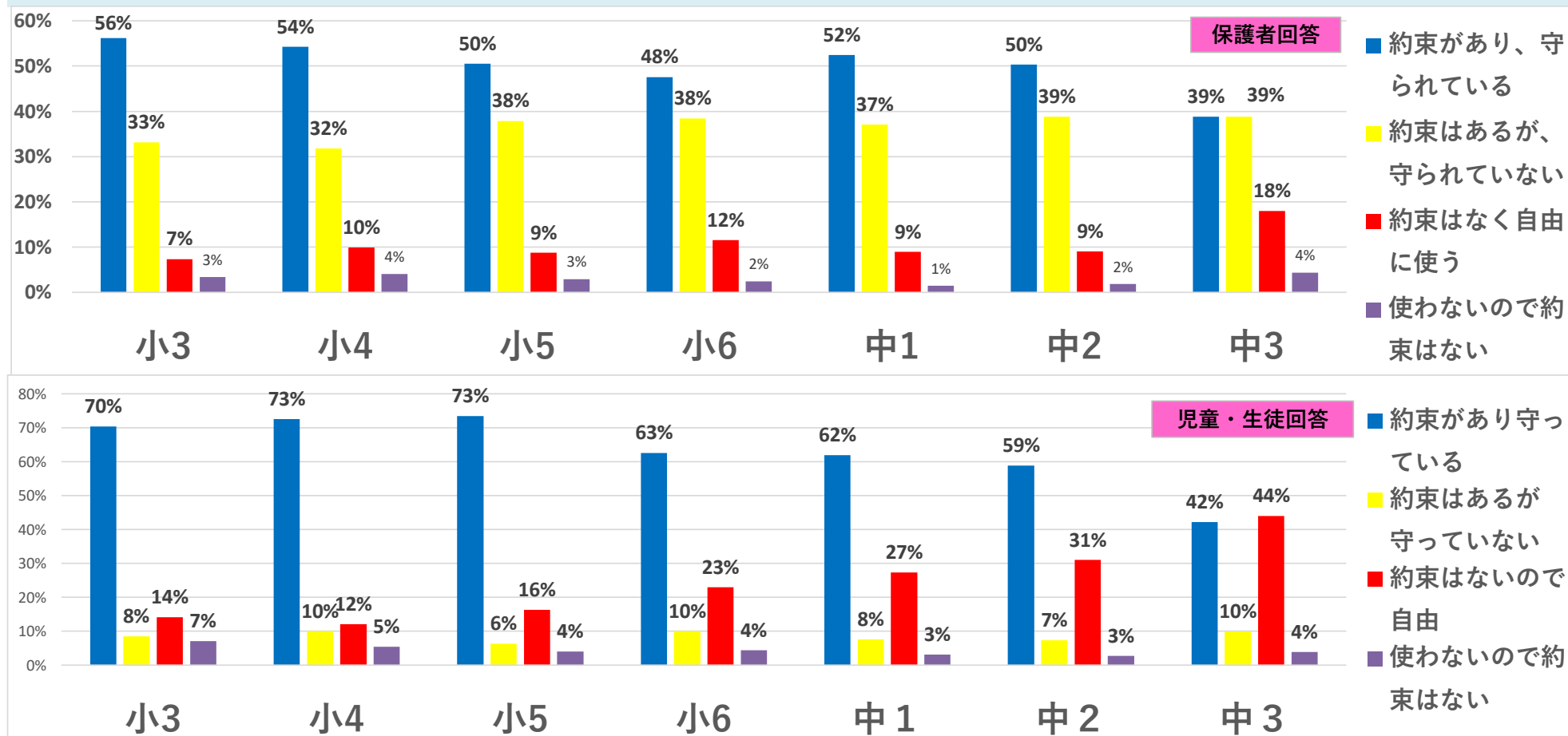
一番多い対応は「保護者が相手と対応」だが、昨年に比べて減っている。全体的には「学校に相談」が増えている。

問⑩お子様はスマートフォンやゲーム、インターネット等にどのくらい夢中になっていますか？



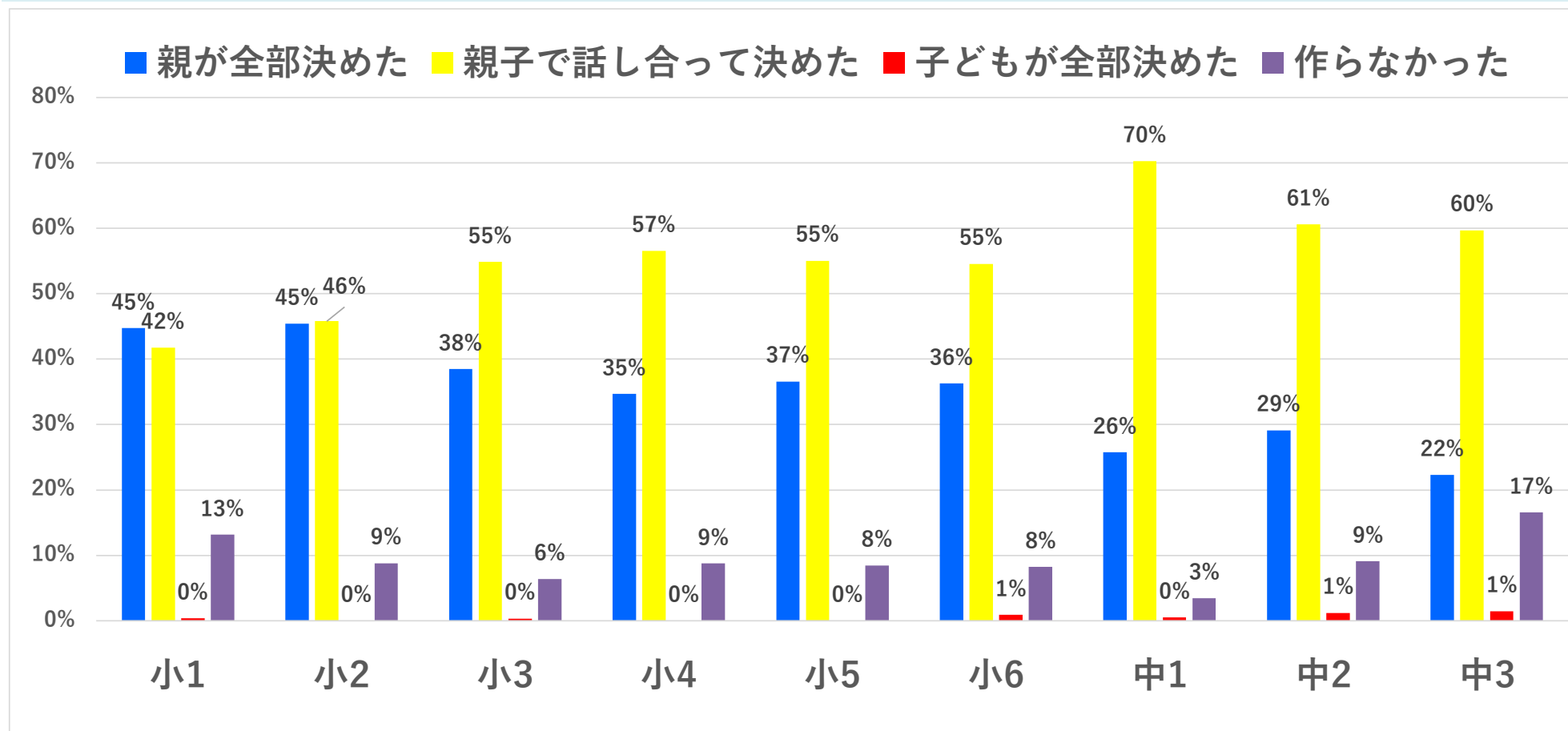
「やりはじめるとなかなかやめられない」が圧倒的多数。強い依存（イライラを伴う）は小1から1割以上おり、高学年でピークとなり中学生で少し減少する。

問⑪お子様のネットやゲーム機等の使用について、家庭での約束は守られていますか？



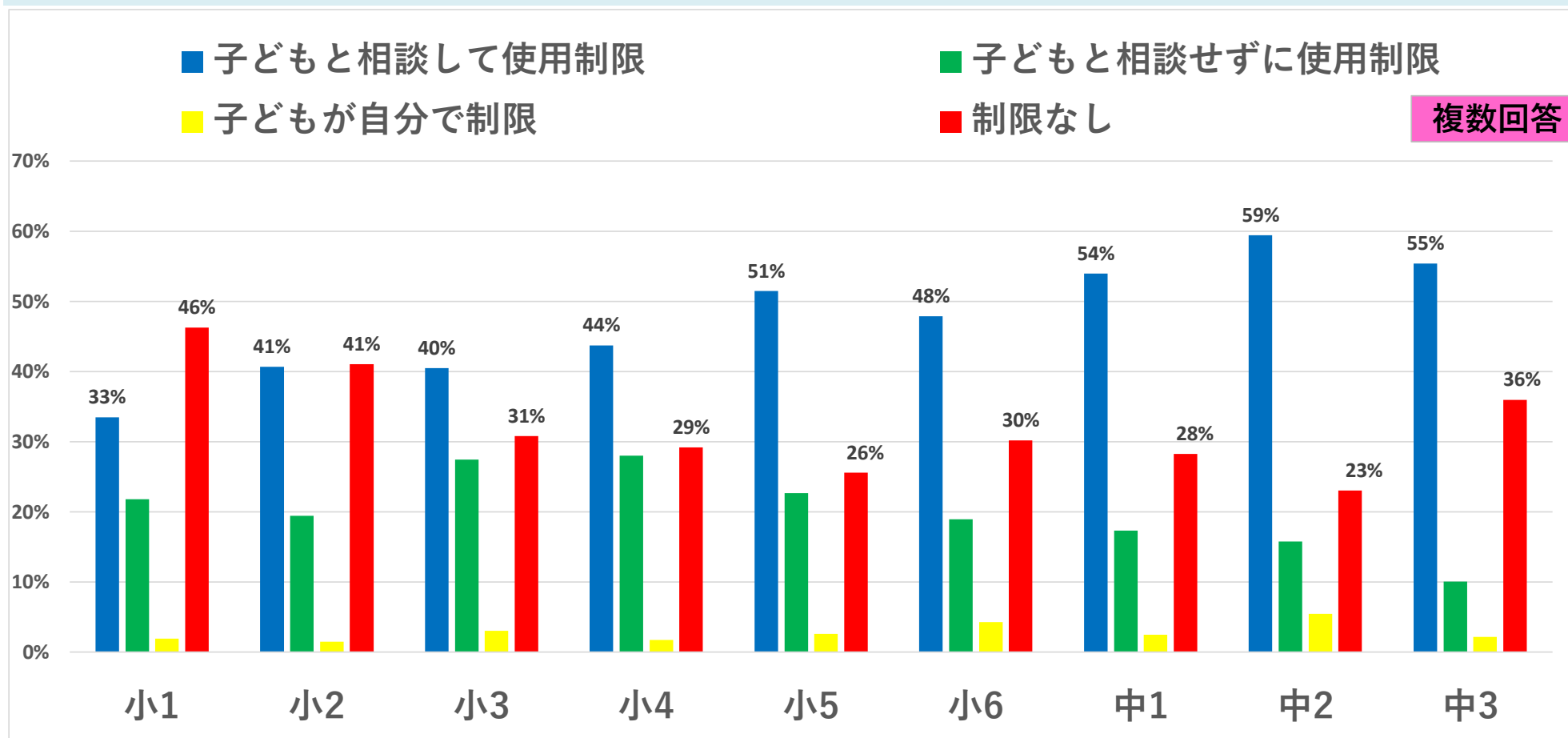
8割以上の家庭で約束があり、約半数は守られている。高学年からルール設定自体が薄れ、自由使用が増加し、親子での認識に大きな差が見られる。

問⑫家庭での使い方やルールや約束について心がけたことや意識したことはありますか



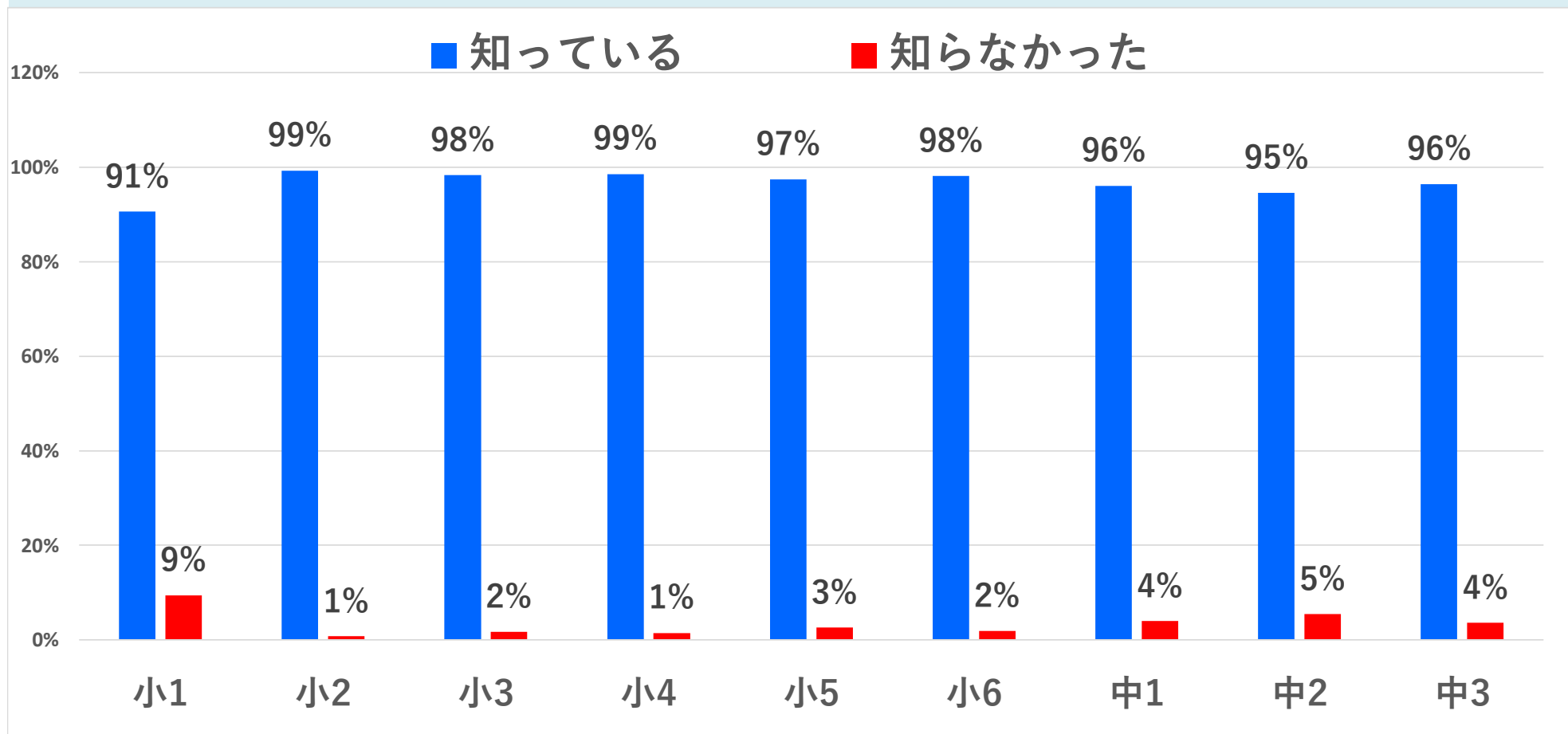
「親が全部決めた」は学年が上がるにつれて減少し、学年が上がるにつれ親子で話し合いながらルールを決める家庭が多数派になる。昨年と比べ中3で約束を作らない家庭が増えている。

問⑬お子様のICT機器の使用をアプリなどによって制限していますか？



問12でルールを「親子で話し合って決める」家庭ほど、「子どもと相談して制限」していると考えられる。同じように中3で「制限なし」が急増する。

問⑭野々市市では毎月第1水曜日を「NOネット、NOゲーム、NOテレビデー」としています。
この取り組みをご存知ですか？



月に一度、インターネットやゲーム、テレビをやめて家族でゆっくり会話や読書を楽しむ日です。全体的に認知度が非常に高く、市の取り組みが家庭や学校を通じて確実に浸透している。